

広報 西春日井消防



第37号

(令和4年10月号)



救急車は緊急性の
高い方を搬送します！



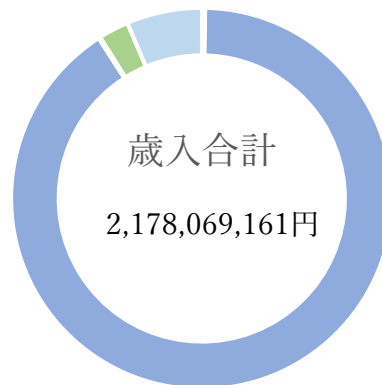
女性消防吏員として初出場

救急車の適正利用のお願い

令和3年度 一般会計歳入歳出決算

歳入

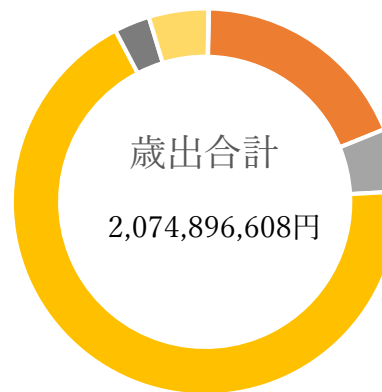
款別	金額（円）
分担金及び負担金	1,974,144,000
診療収入	0
使用料及び手数料	1,777,810
国庫支出金	1,092,370
県支出金	0
財産収入	60,067
繰入金	56,000,000
繰越金	139,572,914
諸収入	5,422,000
歳入合計	2,178,069,161



- 分担金及び負担金
- 診療収入
- 使用料及び手数料
- 国庫支出金
- 県支出金
- 財産収入
- 繰入金
- 繰越金
- 諸収入

歳出

款別	金額（円）
議会費	744,104
総務費	385,187,447
衛生費	109,449,800
消防費	1,414,258,078
公債費	61,620,179
諸支出金	103,637,000
予備費	0
歳出合計	2,074,896,608



- 議会費
- 総務費
- 衛生費
- 消防費
- 公債費
- 諸支出金
- 予備費

令和3年度 情報公開実施状況

情報公開請求件数	15件	情報公開件数	15件
----------	-----	--------	-----

令和3年度 上半期出動件数・休日急病診療所利用状況

市町別	火災出動	救急出動	救助出動	休日急病診療所利用者
清須市	13件	1,618件	30件	現在休止中のため 利用者なし
北名古屋市	7件	1,719件	28件	
豊山町	0件	337件	4件	
管外	0件	5件	0件	
合計	20件	3,679件	62件	0人

発行／西春日井広域事務組合消防本部
編集／総務課
〒481-0014
北名古屋市井瀬木狭場15番地
☎ 0568-22-2511(代表)
Fax0568-22-7979



次回(第38号)は、
令和5年4月1日発行予定です。

公式ホームページ
<http://www.nishikasugai-syobo.jp>



救急車の適正利用のおねがい

近年、救急車の出動件数、搬送人員ともに増えており、救急隊の現場までの到着時間も遅くなっています。

また、救急車で搬送された人の約半数が入院を必要としない軽症という現状もあります。

救急車が本当に必要な方のためにも、数に限りがある救急車の適正利用をお願いします。

しかし、「どういう場合に救急車を呼ぶべきなのか?」「こんなことで救急車を呼んでいいのか?」などのように、判断が難しい場合もあります。

このような時は、総務省消防庁が提供する「Q助」という救急受診アプリが役立ちます。選択式の質問に答えていくだけの簡単な操作により、それぞれの区分に判定されますので、積極的な活用をお願いします。

また、愛知県が提供する「あいち救急医療ガイド」のWebサイト、または、「愛知県救急医療情報センター」の電話案内から、今診てもらえる医療機関を調べることができますので、併せてご活用ください。



緊急度判定を知ろう

全国版救急受診アプリ「Q助」

Web・スマホ対応



あいち救急医療ガイド



愛知県救急医療情報センター連絡先

清 須 市 在住の方 052-263-1133

北名古屋

豊 山 町 在住の方 0568-81-1133



※電話されるときはメモ用紙と鉛筆



をご用意のうえ、現在地、患者さんの氏名、性別、年齢、具体的な症状、ケガの程度などをオペレーターへお伝えください。

救急車を呼ぶ前に考えよう！



**救急車が
たりません!**

全国で救急車の
出動回数は

**5.1秒
に1回**

本当に救急?

救急車は年間約**619万件**も出動しています。
台数には限りがあります。本当に必要な人のために
救急車の適正利用にご協力をお願いいたします。

救急車の適正利用とは?
スマートフォンでアクセス
詳細は下記QRコードを
読み取って救急医療情報センター
サイトへアクセスしてください。

一般財団法人 全国消防協会

女性消防吏員として初出場

第50回消防救助技術東海地区指導会

7月30日(土)イオンモール熱田と名古屋市立大学滝子キャンパスで第50回消防救助技術東海地区指導会が開催されました。

東海3県から代表する消防吏員が一堂に集結し、己の技術の正確さを競い合いました。陸上の部3種目（障害突破、はしご登はん、ほふく救出）と水上の部1種目（基本泳法）に出場しました。

当消防本部発足以来、女性消防吏員として、また、水上種目として初出場となり、この記念大会において2つの初出場となりました。

当日は暑い日差しが照り付ける中、大勢の皆様からたくさん応援していただきました。

今後も様々な分野での、更なる女性消防吏員の活躍が期待されます。



基本泳法

「じゅんか飛び込み」で入水した後、常に顔が水面に出た状態で、基本的な泳法である「ぬき手」と「平泳ぎ」でそれぞれ25メートルずつ泳ぎます。水難救助の基本的な泳法を習得するための訓練です。

障害突破

5人1組（補助者を含む）で4人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過する」の基本動作により5つの障害を突破します。災害現場の様々な障害を想定した訓練です。



はしご登はん

自己確保の命綱を結んだ後、はしごを15メートル登ります。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練です。

ほふく救出

3人1組（要救助者を含む）で、1人が空気呼吸器を着装して長さ8メートルの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後、2人で安全地点まで搬送します。ビルや地下街等で煙に巻かれた人を救出するための訓練です。

